

2020年6月12日

各位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 朴 在賢
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問い合わせ先) 管理本部長 木村 謙二
電話番号 044-820-8251

食道がん患者を対象としたがん特異的ペプチドワクチン S-588410 に関する
探索的研究成果の論文公表のお知らせ

当社が塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功）にライセンスアウトしているがん特異的ペプチドワクチン S-588410 に関する探索的研究の成果をまとめた論文が公表されましたのでお知らせいたします。

S-588410 は、食道がんにおいて発現の亢進が認められるがん精巢抗原（DEPDC1, MPHOSPH1, URLC10, CDCA1 および KOC1）に由来する 5 種類の HLA-A*24:02 拘束性ペプチドからなるがん特異的ペプチドワクチンです。現在、日本において食道がん患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験が進められており、2018年3月には患者登録が終了しております。

塩野義製薬株式会社は、術前の S-588410 の短期投与が腫瘍浸潤 CD8 陽性 T リンパ球の数や腫瘍組織における PD-L1 の発現に与える影響を評価する目的で、食道がん患者 15 名を対象とした第Ⅰ相臨床試験（探索的研究）を実施し、2019年9月の欧州臨床腫瘍学会年次総会ならびに同年10月の第57回日本癌治療学会学術集会でその結果を報告しておりましたが、この度、これらの報告内容をまとめた論文が *Cancer Immunology, Immunotherapy* 誌に掲載されました。本論文は、S-588410 投与によって末梢血中でペプチド特異的な CD8 陽性 T リンパ球が誘導され、さらには食道がん組織における CD8 陽性細胞や PD-L1 発現細胞が増加したことを報告するもので、S-588410 と抗 PD-1 / PD-L1 抗体の併用による相乗効果の可能性を示すものです。

報告内容の一部（TCR レパトア解析）は、当社と塩野義製薬株式会社との共同研究によるものです。なお、本件による 2021 年 3 月期当社業績への影響は軽微であります。

論文は、*Cancer Immunology, Immunotherapy* 誌にオンラインで公表されております。

<https://link.springer.com/article/10.1007/s00262-020-02619-3>

以上